

県政への想い

日頃、県議会だよりを見ていると、「富士見市議会に比べて遅れているなあ・・・」と思うことが度々あります。

例えば、議員の交通費と言われる費用弁償の改革です。

富士見市議会では平成19年に廃止しましたが、県議会では未だに残っており、しかも高額です。



富士見市と県庁の往復に6,000円もかかるのでしょうか。県内全域ですから遠方から来る議員もいますが、せめて実費弁償にすべきです。

また、何かと世間を騒がせている政務活動費です。

こちらについても『月額50万円』と高額である上に、会合の会費などの富士見市では認められていない支出が認められています。

また領収書のインターネット公開も未だになされていません(情報公開度ランキング47都道府県中46位 - 全国市民オンブズマン連絡会議調べ)。



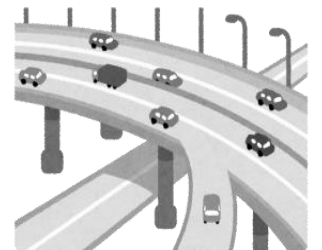
県民から信頼される議会になるためにも、早急に改革が必要と考えます。

議員活動をしていると、市民の皆様から「この交差点に信号を設置して欲しい」「横断歩道を設置して欲しい」といったご要望を多々頂きます。老若男女を問わない、大切な安全に関わる事です。

しかし残念ながら、それらの設置は警察の仕事であり、つまりは県の仕事になります。予算等様々な要因があり実現へのハードルは低くはありませんが、それでも皆様の声を粘り強く届けていきたいと思えます。



富士見市では現在、『ららぽーとのバイパスを挟んで反対側の農地を産業団地にする計画』『そのバイパスと浦和所沢バイパスの交差点を立体交差にする工事』など、県が関わる大型プロジェクトが目白押しです。



市民の皆様のお声をお届けしつつ、これらの事業が富士見市の発展に最大限に寄与するよう、全力でサポートしていきたいと思えます。